

# 亀山市で被害が予想される地震災害

## 気象庁の発表や市民のとりべき行動

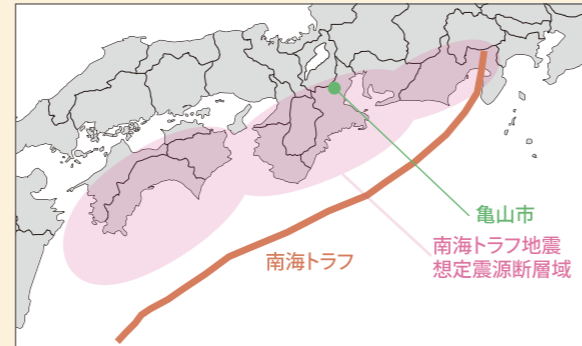


### 【海溝型地震】南海トラフ地震

南海トラフは日本列島が位置する大陸のプレートの下に、フィリピン海プレートが南側から年間数cm割合で沈み込んでいる場所です。この沈み込みに伴い、2つのプレートの境界にはひずみが蓄積されています。

南海トラフでは約100～200年の間隔で蓄積されたひずみを解放する地震が発生しています。現在、昭和東南海地震及び昭和南海地震が起きてから70年以上が経過し、次の巨大地震発生の可能性が高まっています。

今後30年以内にマグニチュード8～9クラスの地震が発生する確率は70～80%とされています。



#### ●被害想定(県・亀山分)

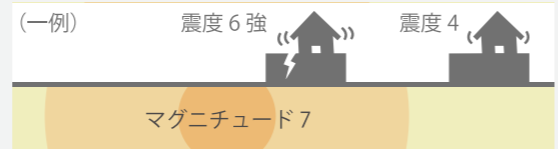
平成25年度の三重県の被害想定調査によると亀山市では下記の被害が想定されています。

##### 南海トラフ地震(理論上最大時)

最大震度	6強	帰宅困難者数	6,600人
建物全壊・焼失数	約1,400棟	負傷者数 (うち重症者数)	約900人 約100人
死者数	約80人	災害廃棄物発生量	約100,000t
建物倒壊による 自力脱出困難者死者数	約300人	孤立集落発生の可能性	0

#### ② マグニチュードと震度の違い

マグニチュードは地震の規模そのものを表したもので、震度はある地点での揺れの強さを表したものです。震源地から遠ければ震度は小さな数字になります。しかし、マグニチュードの数字は変化することはありません。



### 【直下型地震】主な断層帯

直下型地震は、海溝型地震に比べて規模が小さく、また被害範囲も20キロメートルから30キロメートル程度とされていますが、震源が浅い場合は大きな被害をもたらすことがあります。

右図のように三重県内又は周辺にも複数の断層帯が確認されており、巨大地震を引き起こす可能性があります。



三重県にも巨大地震の心配があるんだ！  
それに発生確率も低いみたい。



### ●南海トラフ地震臨時情報について

南海トラフ全域を対象に地震発生の可能性の高まりについて気象庁から発表される情報です。

日頃から地震に対する準備をして、臨時情報が発表されたら再確認する！これが大事だね！



キーワード	キーワードを付記する条件
南海トラフ地震臨時情報(調査中)	観測された異常な現象が南海トラフ沿いの巨大地震と関連するかどうか調査を開始した場合、又は調査を継続している場合
南海トラフ地震臨時情報(巨大地震警戒)	想定震源域内のプレート境界において、モーメントマグニチュード8.0以上の地震が発生したと評価した場合
南海トラフ地震臨時情報(巨大地震注意)	想定震源域又はその周辺でモーメントマグニチュード7.0以上の地震が発生した場合(プレート境界のモーメントマグニチュード8.0以上の地震を除く) 想定震源域内のプレート境界面において、通常と異なるゆっくりすべりが発生したと評価した場合
南海トラフ地震臨時情報(調査終了)	巨大地震警戒、巨大地震注意のいずれでもなかった場合

### ●南海トラフ地震臨時情報発表時にみなさんがとるべき行動

家具の固定の確認

10ページ

家族の安否確認手段の把握

12ページ

非常持ち出し品の確認

18ページ

避難場所・避難経路の確認

20ページ

#### 津波について

亀山市においては津波到達による事前避難対象地域はありませんので、基本的に情報が発表されても即座に避難所は開設されません。

#### 亀山市で被害が予想される主な直下型地震

断層帯等名称	予想される地震の大きさ	亀山市予想最大震度	30年以内の地震発生確率
養老-桑名-四日市断層帯	マグニチュード8.0程度	6強	ほぼ0%～0.7%
頓宮断層	マグニチュード7.3程度	6弱	1%以下
鈴鹿東縁断層帯	マグニチュード7.5程度	6強	ほぼ0%～0.07%

※過去の地震発生前の30年以内の発生確率では阪神・淡路大震災 0.02～8%、熊本地震 0～0.9%、北海道胆振東部地震 0～0.2%とされていました。これらのことから三重県の断層帯の地震発生確率は決して低い数字ではありません。

三重県の断層帯について、詳しくは「防災みえ.jp」をご覧ください。  
URL: [http://www.bosaimie.jp/static/X\\_MIE\\_mhd00](http://www.bosaimie.jp/static/X_MIE_mhd00)



防災みえ.jp  
←QRコードはこちら

災害を知る